

医療

早期発見・早期治療のススメ

シリーズ 歯科治療最前線

歯の欠損治療で効果を発揮

機能性から審美性の回復も

インプラント治療の有効性

10年ほど前まではインプラントって何?と答えた人が多かったのが、今や大部分の人まで知られるようになったインプラント治療。認知度アップとともに患者数も年々増えています。そこで今月号から3回に分けて「インプラント治療」について掲載します。1回目はインプラント治療の有効性です。

歯の欠損は早めの処置を

歯の本数でも欠損したら早目に処置しないと、隣りの歯が徐々に倒れてきたり、噛み合う歯が挺出するなどして噛み合わせが悪くなるばかりか、その後の欠損治療も難しくなります。歯の欠損治療には例えば一本や二本の場合は、隣り合った健康な歯を支えとする「ブリッジ」や「部分入れ歯」があります。また、全部の歯が

歯が一本でも欠損したら早目に処置しないと、隣りの歯が徐々に倒れてきたり、噛み合う歯が挺出するなどして噛み合わせが悪くなるばかりか、その後の欠損治療も難しくなります。歯の欠損治療には例えば一本や二本の場合は、隣り合った健康な歯を支えとする「ブリッジ」や「部分入れ歯」があります。また、全部の歯が

長期間持続可能な耐久性

一本から全歯欠損まで対応できるインプラント治療には、様々な特徴があります。耐久性に優れ、多くの場合、長期間（30年以上の例あり）持続できるほか、固

専門医からのアドバイス Q&A



熊本インプラントセンター 添島 義樹 院長
日本口腔インプラント学会 専門医
厚生労働省相指定 臨床研修指導医
中医学園非常勤講師

インプラント治療の有効性

全体を造り上げます。最大の特徴は耐久性に優れ、健康な歯と機能的にもほとんど変わらず、噛めるという点が挙げられます。

歯の欠損に対応

インプラント治療を受けられる対象者はどのような人ですか?

基本的には歯の一本欠損から全歯欠損の人が対象となります。特に何らかの原因で歯が欠損し、その両側の歯が虫歯や歯周病がないような場合はインプラントが最適です。ただし、顎が成長中の若年者は、成長が終わるのを待って治療を行うケースが多いですね。また、重篤な全身疾患のある方は治療できない場合もありますから注意が必要です。

社会的認知度は年々上昇

以前に比べてインプラント治療が普及した背景は?

インプラント治療は口腔外科手術が必要で、以前は施すことが出来ず、知名度も低かったのです。治療の効果や機能性などが入れ歯やブリッジと比較して高いことが徐々に知られ、社会的認知度が

入れ歯、ブリッジに代わる治療

インプラント治療は歯の欠損部分に新しい歯をつくる「歯の補綴」(ほてつ)治療の一つです。補綴治療には入れ歯とブリッジとしてインプラントと3種類の治療法があります。歯の欠損部分の歯槽骨に土台(インプラント)を埋め込み、その上に歯冠を被せ、



定式のため違和感がなく噛むことができ、噛む力も天然歯に近く、固いものや粘着性のものでもしっかり噛むことができます。また、見た目も天然歯にほぼ近い状態にすることが出来ます。インプラント治療した熊本市の50歳代の女性に聞くと「前歯と奥歯に合計3本入れましたが、友人からも全然わからないといわれ、口を開けて笑うことも自然にできるようになりました」と満足した表情で話してくれましたように、見た目プラス精神的な効果も生み出しています。

機能性や審美性も回復

また、バランスのとれた噛み合わせの回復ができることで、頭痛、首や肩の凝り、顎関節の痛みなどの解消につながったり、転びにくくなったという例もあります。さらに、咀嚼力の上昇によって唾液の分泌量も増え、免疫力の向上にもつながります。ある面、インプラント治療は歯科治療の中でも補綴治療の範ちゅうを越え、再生治療と呼ぶ歯科研究者もいます。機能性や審美性を取り戻すことができるとい

うことが背景にあるためでしょう。(次号では具体的な治療方法について掲載します)

さまざまな有効性が報告

インプラント治療の有効性をいくつか教えてください?

主点を挙げれば噛む力が健康な歯の8割から9割程度まで回復します。よく噛めれば食事もおいしく食べられるだけでなく、唾液の分泌を促し健康増進につながります。また、ブリッジのようにインプラントを入れる両側の歯を削らなくて済みます。顎の骨の退化も防ぎます。耐久性にも優れ、毎日のブラッシングと簡単なメンテナンスさえ継続していれば、取り外しする必要も無く一度の治療で長期間持続できます。

見た目や発音もほとんど天然歯と変わりがなく、違和感もほとんどありません。QOL(生活の質)のアップにつながっている事例はいくつもあります。

熊本インプラントセンター 添島 義樹 院長
熊本市桜町1-28-205 桜町センタービル2階
TEL: 0120-354-508
http://www.soejima-sika.com/

医療・福祉ニュース KUMAMOTO

富合町に内科クリニックを開院

熊本市の浅尾徳孝医師は1月6日、同市富合町に「とみあい内科クリニック」を開院した。場所は富合町新で、敷地面積は730㎡。建物は2階建てで、延べ面積2773㎡。クリニックは高齢者などに配慮したバリアフリー構造になっており、フロア構成は1階に診療室2室、レントゲン室、処置室など。2階はスタッフルーム。診療科目は内科、呼吸器科、消化器内科。診療時間は午前9時から午後12時30分、午後2時から同6時(水曜・土曜日は午後12時30分まで)、休診日は日曜・祝日。スタッフは医師1人、事務2人、看護師3人の計6人。浅尾徳孝 先生は「よしたか医師は、熊本市出身、1963(昭和38)年11月10生まれの47歳。熊本高校1熊本大学医学部卒。済生会熊本病院や玉名中央病院などの勤務を経て、八代郡医師会立病院に勤務していた。



富合町新に開院

宇賀岳病院の内科・外科クリニック

宇賀岳病院勤務の上土井晋医師は、宇城市松橋町に内科・外科クリニックを開院した。場所は松橋町南豊崎の泉道八代鏡線沿い、豊川小学校西側。名称は「じょうどいクリニック」。敷地面積は約500㎡、建物は平屋建て。クリニック内には診察室2室や検査室、内視鏡検査室、処置室、点滴室、レントゲン室のほか、感染症予防のために仕切ることのできる待合室や大腸検査患者用の待合室などを設けた。診療科目は胃腸科・内科・外科で生活習慣病予防、大腸内視鏡、Eコト検査などを行う。スタッフ数は医師を除き看護師4人、事務員3人の計7人。診療時間は午前9時から午後1時、午後3時から同6時。休診日は日曜・祝日と土曜日の午後。上土井晋(じょうどい)医師は熊本市出身、1966(昭和41)年10月12日生まれ、44歳。福岡大学医学部卒。熊本中央病院、熊本赤十字病院などの勤務を経て宇賀岳病院に勤務していた。上土井晋医師は「地域のニーズに応えたホームドクターを目指します。特に心身の疲れからくるストレス性の病気の早期発見に努め、疲労ケアに力を入れていきます」と話している。



豊川小学校近くに開院

萩原町に住宅型有料老人ホームを建設

訪問介護事業や住宅型有料老人ホームの運営を行うヘルメス企画(熊本市出水)は1月、同市萩原町に住宅型有料老人ホームをオープンした。場所は通称旧浜線沿い、ダイレックス萩原店西、県営団地北側。名称は「爽苑(そうえん)2番館」。敷地面積は509㎡、建物は3階建てで延べ床面積は416㎡。外観は白を基調にしており、ホーム内は段差をなくした全面バリアフリー構造となっている。居室は完全個室(10×12㎡)で部屋数は18室。定員は20人。居室のほかに食堂2室や事務室、多目的室などを設け、エレベーターを備えている。料金は月額9万4500円から10万5000円(2人部屋は14万7000円)で、利用対象は要介護1～5の認定者となっている。同社では「2番館は日当たりが良い立地のため、入所者の方も気持ちよく過ごせる」と話している。



萩原町の県営団地北側にオープン

PET-CT検査に新機種を導入

熊本市出水7丁目の魚住クリニックは1月、PET-CT検査に新機種を導入した。導入した機種は「PET-CT(Philips Gemini TF)」で、西日本初の新世代PET-CT機。同機種は撮影回路の大幅な刷新により、検査内容によるものの撮影時間が短縮され10～20分で終了する点特徴。また、出来上がる画像もTOF(タイム・オブ・フライト)法という新たな算出法により構成されており、従来の機種よりも検査感度が上がり、雑音も少なく、より鮮明な画像として供給されるという。同機種導入による事業費は2億円。魚住院長は「同機種の導入による検査時間の短縮で、受診者の負担を軽減し、より質の高い画像での病態評価が可能になりました」と話している。



新機種のPET-CT

超伝導MRI装置が移動

山鹿市山鹿の山鹿中央病院はこのほど、超伝導MRI装置を移動した。



超伝導MRI装置